

新しい協働を考えるシンポジウム①

協働契約は可能か？

「協働＝対等な関係というけれど、行政と NPO の委託契約は対等な関係なのだろうか？」
というのは、多くの NPO が持っている疑問です。横浜の子育て支援グループも同じような
疑問を感じ、そこから「協働契約のあり方を考える会」が生まれ、昨年「協働契約」のモ
デル案を提案しました。

提案を出したものの、協働契約を NPO と行政が締結するには、いくつか越えなければな
らない山があります。横浜でもいまだ「協働契約」は結べていません。

そこで、協働契約のあり方を考える会は「協働契約の実現」をめざして、名称も「新し
い協働を考える研究会」と改め、全国の同じ悩みを持つ仲間たちと調査研究をすすめるこ
とにしました。

その第一弾のシンポジウムを開催いたします。今回は、環境分野の中間支援組織である
地球環境パートナーシッププラザとの共催です。第一弾は法律の専門家である大久保 規
子氏（大阪大学）から、「協働」をめぐる法的課題全般をご講演いただき、モデル「協働契
約」の検証もお願いしたいと考えています。

行政との関係に悩む NPO の方々、NPO との関係に課題を持つ行政の方々、協働に関心
がある市民の方々、ぜひご参加ください。

日時:2010年7月24日(土)14:00-16:00

場所:地球環境パートナーシッププラザ >>地図・アクセス裏面

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 5-53-70 国連大学ビル1階

講師:大久保規子氏(大阪大学教授)

主催:新しい協働を考える会、地球環境パートナーシッププラザ

資料代:500円

問合せ:NPO 法人びーのびーの事務局 TEL045-540-7422

メール:admin@bi-no.org

申 込:裏面申込書を FAX 送信にてお申込下さい

<講師プロフィール>

大久保規子（おおくぼ・のりこ）大阪大学大学院法学研究科 教授
北海道出身。一橋大学大学院法学研究科博士後期課程修了。博士（法
学）、ドイツ・ギーセン大学法学修士。愛媛大学沿岸環境科学研究セ
ンター客員教授。最新の共著として『要説 環境法第4版』（有斐閣、
2009年11月）。環境政策・訴訟の現場を歩き回り、協働法制と環境
公益訴訟について研究している。

FAX045-540-7421 NPO 法人びーのびーの事務局内

新しい協働を考えるシンポジウム①協働契約は可能か？

参加申込書

氏名 _____

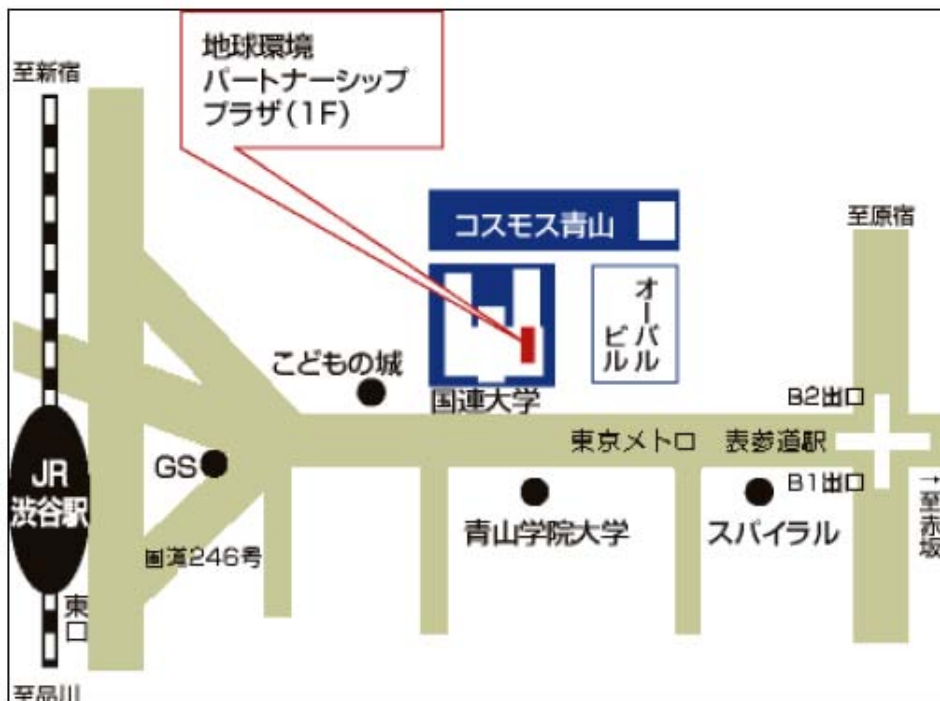
所属 _____

連絡先 _____

メッセージ・質問など

会場アクセス:地球環境パートナーシッププラザ:携帯 HP

<http://www.geic.or.jp/k>



最寄駅

■表参道駅(徒歩5分)

東京メトロ:銀座線・千代田線・半蔵門線
B2出口を出て、そのまま道沿いに直進し、約5分ほど歩く。

■渋谷駅(徒歩10分)

JR・東急・京王井の頭線・東京メトロ
東口を出て、りそな銀行とキムラヤの間の宮益坂をずっと直進。子どもの城のとなり。

UNハウス(国連大学ビル)の正面から見て右側のブロックになります。中庭側が入り口になりますので、奥までお進みください。